

はげみ

第95号 2026. 8. 20

(公社)津法人会 青年部会
津市広明町121番地 津税理士会館4階
TEL(059)225-1302



(インスタグラム)



(ホームページ)

提 言

みんなが正しい社会で、会社だけが悩んでいる

最近、「正しいこと」が増えたように思います。
値上げはしない方がよい。給料は上げた方がよい。
働き方は改善した方がよい。
サービスは充実していた方がよい。地域貢献もした方がよい。
環境にも配慮した方がよい。どれもその通りです。
反対する人はほとんどいないでしょう。
問題は、それらを全部同時に実現しようとする、
なぜか会社だけが頭を抱えることになる点です。
スーパーへ行けば、「また値上がりしたな」と感じます。

一方でニュースを見れば、「賃上げ率〇%」という話題が流れています。
もちろん給料は上がってほしい。私もそう思います。
従業員にもそうあってほしいと思っています。
しかし、経営者という立場になるとつい別のことも考えてしまいます。

「その原資はどこから出てくるのだろうか？」と。
この問いを口にする、どこか空気を読めていない人のような雰囲気になります。
けれど、会社の帳簿は空気を読んではくれません。
売上と経費を淡々と計算するだけです。
昭和の頃は、物価も給料も上がるのが当たり前でした。

商売をしていても、「今年は少し値上げします」が比較的通用した時代です。
ところが、平成になると状況が変わりました。
長いデフレの中で、「より安く、より良く」が企業の使命となりました。
企業努力という言葉は、いつの間にか「価格を上げずに頑張ること」と同義語になったように感じます。

そして令和。
原材料は上がる。燃料も上がる。物流費も上がる。
人件費も上がる。
ところが消費者としての私たちは、できれば値上げはしてほしくない。

実に人間らしい感情です。経営者も同じです。
会社を出れば、一人の消費者ですから。
しかし、ここに少し不思議な構図があります。
値上げには敏感なのに、賃上げには期待する。
サービス向上は歓迎するが、その費用負担はできれば避けたい。
誰も悪くありません。
ただ、それぞれが自分の立場から正しいことを言っているだけです。
だからこそ難しいのです。
経営をしていると、「正しいこと同士がぶつかる

場面」によく出会います。
従業員の待遇を改善したい。でも商品価格はできるだけ抑えたい。
設備投資もしたい。地域活動にも協力したい。
そのすべてを実現したいと思うのですが、現実には算数の世界です。
願っただけでは計算が合いません。

ここで時々思うのです。
利益という言葉は、少し損な役回りではないかと。
利益が出れば「儲かっている」と言われる。
利益が出なければ「経営が厳しい」と言われる。
まるで健康診断の体重のように、増えても減っても何か言われる存在です。
しかし、本来利益は特別なものではありません。
会社を存続させるための体力です。
従業員の給料も、設備投資も、納税も、地域貢献も、その体力があってこそ続けられます。
利益は目的ではなく、社会的責任を果たし続けるための燃料と言えるかもしれません。
経営者は利益を独り占めするために悩んでいるわけではありません。

むしろ、多くの経営者は利益の使い道に悩んでいます。

従業員にどう還元しようか。
次の世代のために何を残そうか。
地域にどんな形で貢献しようか。
そんなことを考えている人が少なくありません。
だからこそ、利益という言葉をもう少し前向きに捉えてもよいのではないのでしょうか。
昭和は利益を出すことが評価されました。
平成は利益を削ってでも価格を維持することが評価されました。

そして令和は、利益を出す理由を説明することが求められる時代になったように感じます。
それもまた時代の変化なのでしょう。
ただ、どんな時代であっても変わらないことがあります。

会社が元気でなければ、人も地域も元気にはなれないということです。
みんなが正しい社会。それは素晴らしいことです。
しかし、その正しさを持続可能なものにするためには、会社が適正な利益を生み出せる環境も必要です。

経営者だからこそ見える景色があります。
その景色の中には、単純な正解では解決できない問題がたくさんあります。
だから今日も経営者は悩みます。
みんなが正しいのに、なぜか会社だけが悩んでいるのです。

(公社)津法人会青年部会活動報告会開催される

5月26日(火)に津税務署長 石丸真吾 様をはじめとする多くのご来賓の方々にご臨席賜り、ホテル津センターパレスにおいて、令和8年度の活動報告会が開催されました。

下津部会長の挨拶に始まり、ご来賓の方々のご祝辞をいただいたのち、部会長が議長を務め、議長の進行により令和7年度の事業報告および収支決算報告と、令和8年度の事業計画および収支予算が報告されました。



令和8年度基本方針

(令和8年4月1日～令和9年3月31日)

よき経営者を目指すものの団体として、会員の積極的な自己啓発を支援し、納税意識の向上と企業経営及び社会の健全な発展に繋がる事業を行っていきます。

公益法人として、租税教育、講演会研修会の一般公開を中心とした地域貢献活動にもさらに力を入れ、また会員交流も積極的に行います。

1. **会員研修** — 会員の自己啓発を支援し、企業経営の健全な発展に繋がる研修を行います。
2. **税制研修** — 正しい税の知識を身につけ、納税意識の向上を目指し研修会を行います。また、「e-Tax」の普及推進に努めます。
3. **会員拡大** — 会の存続・発展に繋がる積極的な会員拡大を行います。
4. **会員親睦** — 信頼できる仲間作りを目指し、会員親睦の機会をつくっていきます。
5. **広 報** — 広報誌である「はげみ」とインターネットのホームページ・SNSを通じて法人会青年部会活動の広報を行います。
6. **関連団体** — 本会事業への参加並びに三重県法連、東海法連、全法連の各種事業へ参加し連携を深めるとともに、青年部会事業活動への参考とします。
7. **そ の 他** — 必要に応じて上記の基本方針を達成するための事業を行います。

令和 8 年度事業計画

月	行 事		本 会
4 月		租 税 教 育 事 業	総会 (26日)
5 月	活動報告会		
6 月	ゴルフコンペ		
7 月	研修会		
8 月	親睦ボウリング大会 広報誌「はげみ」発行		
9 月	研修会		
10月	ゴルフコンペ		
11月	全国青年の集い島根大会 (19日・20日) 会員拡大デー		
12月	12月例会		
1 月	新年交流会		
2 月	研修会		
3 月	広報誌「はげみ」発行		
役員会は毎月開催 HP・SNS更新は随時 地域貢献事業			

令和 8 年度予算 (令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日)

(1) 収入の部

(円)

項 目	予 算 額	備 考
会 費 収 入	570,000	各種事業収入
行 事 収 入	1,080,000	
本 会 助 成 金	750,000	
雑 収 入	1,000	
合 計	2,401,000	

(2) 支出の部

(円)

項 目	予 算 額	備 考
事 業 費	2,050,000	広報誌等
広 報 費	300,000	
会 議 費	30,000	
雑 費	6,000	
予 備 費	15,000	
合 計	2,401,000	





かむ はかり
神議
— 心を開き、未来を拓け! —

第40回 法人会 全国青年の集い

島根大会

【会場】 ホテル一畑
くにびきメッセ
松江市総合体育館

2026年 11/19(木) ▶ 20(金)



記念講演会

日 時：令和 8 年 5 月 26 日 (火) 15:00～16:30
場 所：ホテル津センターパレス

「危険地帯だから学べる 極限の人間力」



講 師 ジャーナリスト 丸山 ゴンザレス 様

令和 8 年度の記念講演会では、「危険地帯だから学べる極限の人間力」と題し、ユーチューバーとしても活躍されているジャーナリストの丸山ゴンザレス様をお迎えし、ご講演いただきました。

丸山様が今日まで訪問取材をされた危険地帯での様子を、ご本人の撮影動画を交えて臨場感あふれる解説とともにご披露いただきました。過酷な海外の危険地帯や裏社会での取材秘話、そして丸山様が現場で意識している極限の人間力の極意について語っていただきました。

当日は会員のみならず、事前にご応募いただいた一般の方々にもご来場いただき、総勢200名を上回る参加者で会場は賑わいました。講演会終了後には書籍販売とサイン会も開催し、多くの方が列をつくり、あっという間に書籍が完売いたしました。

貴重なご講演をいただきました丸山ゴンザレス様に、改めて感謝申し上げます。





本年度卒業される方 (順不同・敬称略)



中山 敏	旭鍍金(株)
前田 英行	安濃急送(有)
西川 晃司	ALSO K三重(株)
笠井 秀昌	(株)河合組
南 孝裕	グッドスマイル不動産(株)
楠井 隆	(株)芸濃
森 潔暢	三八運輸(株)
倉田 利和	ジーテック(有)
原田 朋幸	中部建設工業(株)
藤田 義久	(株)藤久建設
坂野 誠	(株)ライフプラン
服部 安行	(株)株式会社 Y's 建築

租税教育活動 津市教育委員会贈呈式

3月27日 津市教育委員会を訪問し、税金が活用された津興橋や伸縮ブーム付消防ポンプ自動車の写真を掲載したクリアファイルと租税教育用冊子を、津市内の全小学5年生へ配布していただくよう、贈呈させていただきました。



また、森昌彦教育長から、租税教室への取り組みについても、感謝のお言葉をいただきました。



《 会 員 拡 大 》

新しく、(公社)津法人会青年部会に入会される方をご紹介します!!

青年の持つフレッシュな感覚と行動をもってお互いに啓発と親睦を図り「経営基盤の確立」と「後継者づくり」が大きな目的です。

50才までの方であれば会社の役員、従業員、男女等問いません。

●会費…年額6,000円 詳しくはお近くの青年部会役員が事務局へお問い合わせ下さい。

事務局／津市広明町121 津税理士会館4階 TEL059-225-1302 FAX059-227-6085

<http://www.tsu-hojinkai.or.jp/> E-mail: hojinkai@mint.or.jp

租税教育活動報告

本年度も会員の皆様のご協力のもと、7月までに10校で租税教室を開催することができました。ご協力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

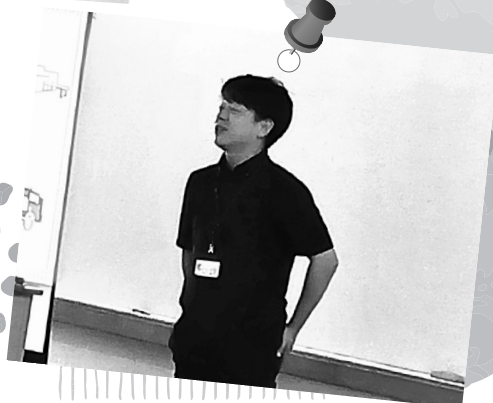
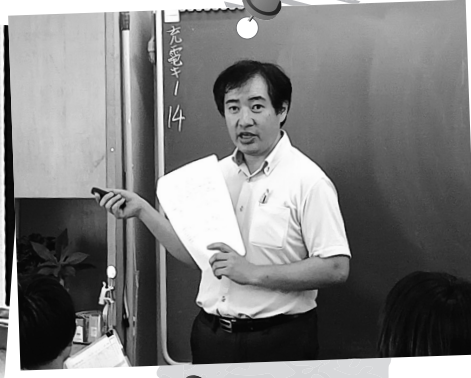
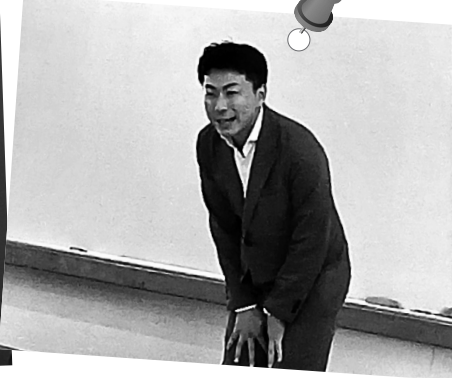
長年にわたり「シロモチくん」を活用した租税教室を継続してきたこともあり、事前打ち合わせの際には学校の先生方から「シロモチくんですね」と声を掛けていただく機会も増え、その認知度が着実に広がっていることを実感しております。継続して取り組んできた活動が、少しずつ地域に根付いてきていることを大変嬉しく感じています。

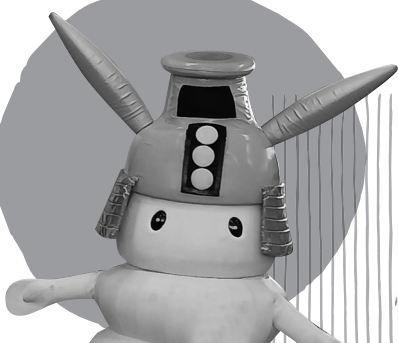
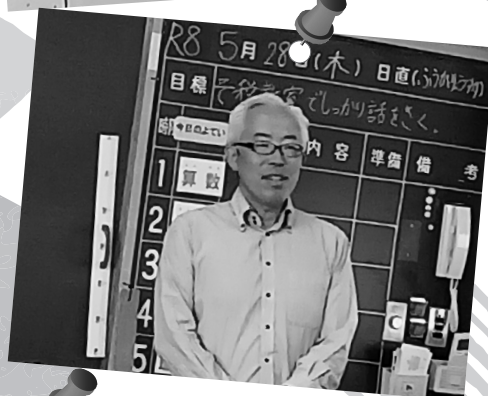
また、津法人会青年部会では世代交代が急速に進んでおりますが、今年も多くの方に初めて租税教室へご参加いただきました。例年以上に初参加の会員が多く、講師としての経験を積んでいた

く機会が増えていることから、租税教室の担い手も少しずつ次の世代へ引き継がれていると感じています。

私自身も津法人会青年部会で租税教室に携わるようになり、今年で12年目を迎えました。これまで多くの先輩方から学び、支えていただいた経験を大切にしながら、次の世代へしっかりとバトンをつないでいけるよう、今後も準備と研鑽を重ねてまいります。

租税教室が子どもたちにとって税への理解を深める有意義な機会となるよう、税制委員会としてもより良い運営を目指してまいります。今後とも皆様からの貴重なご意見、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。





令和8年度



租税教室

開催日程

- ・ 津市立明合小学校 5月18日(月)
- ・ 津市立雲出小学校 5月19日(火)
- ・ 津市立大三小学校 5月28日(木)
- ・ 津市立戸木小学校 6月11日(木)
- ・ 津市立香良洲小学校 6月18日(木)
- ・ 津市立桃園小学校 6月22日(月)
- ・ 津市立上野小学校 6月26日(金)
- ・ 津市立南が丘小学校 7月6日(月)
- ・ 津市立豊が丘小学校 7月10日(金)
- ・ 津市立藤水小学校 7月13日(月)
- ・ 津市立敬和小学校 9月14日(月)

子ども達に税の大切さを
学んでいただきます。
講師・シロモチくん役(?)として
是非ご参加ください。

いもいもはげみ!

第43回

「仕事も遊びも全力で。 私の元気の源」

私は地元でプラスチック製品を製造、加工する会社を経営しています。経営者という仕事は、毎日が判断の連続です。設備投資や資金繰り、人材育成、お客様との商談など、考えることは尽きません。最近では会社の将来を見据えたM&Aの話まで持ち上がり、新しい挑戦に胸が躍る一方で、大きな責任も感じています。しかし、不思議と忙しいほど「仕事以外の時間」が大切だと感じます。

私にとって、その代表がゴルフです。ゴルフは取引先や金融機関の方々とラウンドする機会も多くありますが、一打一打に集中しながら自然の中で過ごす時間は最高のリフレッシュになります。思い通りにいかないところも経営に似ていますが、それもまた面白さの一つです。最近では法人会青年部会の気の合う仲間たちとのラウンドもリフレッシュや、情報交換の場として有意義に過ごしています。

もう一つの楽しみは釣りです。夜の海へイカ釣りに出掛けたり、ヒラメやイサキを狙ったりと、季節ごとの魚を追いかけています。釣果ももちろん嬉しいですが、海の上で朝日を眺めながら過ごす時間は、心をリセットしてくれる特別な時間です。

最近では青年会議所時代の友人の誘いもあり、週に一度はバスケットボールにも参加しています。学生時代ほど動けませんが、汗を流して仲間と笑い合う時間は最高です。運動した後の一杯のビールも格別ですが、飲み過ぎには少し注意しなければいけません（笑）。

健康づくりのため、ジムにもできるだけ通っています。また法人会の健康経営活動にも積極的に参加し、キャンペーン中は歩数を意識した行動を心掛けるようにしています。経営者は体が資本です。忙しいことを理由に健康を後回しにせず、長く仕事を続けるための自己投資だと思っています。

そして、何より大切にしているのが家族との時間です。大学受験を控えた娘は勉強に励み、休日には息抜きに友達と出掛けたり、自習室へ通ったり、土曜日は弊社事務所へ同行し、私が仕事している時間も勉強しています。親としては、必要以上に口を出すのではなく、挑戦する姿をそっと応援することを心掛けています。子どもたちの成長を見るたびに、自分もまだまだ頑張らなければと励まされます。

仕事も趣味も家庭も、どれか一つではなく、すべてが私の活力になっています。「よく遊ぶ人ほど、よく働く。」そんな言葉がありますが、本当にその通りだと感じます。たまに遊びすぎと妻に怒られる時がありますが、夢中になれる趣味があるからこそ仕事に集中でき、仕事にやりがいがあるからこそ休日も思い切り楽しめる。この良い循環をこれからも大切にしていきたいと思っています。